

授業科目 言語学

【担当教員名】 福田 一雄	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】  
 言語学の基本的な考え方と言語研究の歴史を概観し、言語学の各領域を解説する。さらに言語の単位、社会・文化との関係を概説する。言語の単位として、音声、音韻、語の形態、文構造、談話構造を取り上げる。言語と社会・文化との関係を選択体系機能言語学、語用論、社会言語学の視点から考察する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1 言語学の基礎的知識を身につける。	2 言語学、言語観についての知識を得る。
3 現代言語学の研究分野について理解する。	4 言語の単位について学ぶ。
5 言語の構造について学ぶ。	6 言語の社会性について学ぶ。
7 言語と文化の関係について学ぶ。	

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	導入 「言葉」あるいは「言語」と聞いて学生諸君が抱くイメージについて話してもらう。		対話と講義
2	言語観 ヨーロッパの言語観とアジアの言語観		講義
3	言語観 構造言語学と生成文法		講義
4	言語の特徴 言語の恣意性と分節性		講義
5	言語の特徴 言語能力と言語運用		講義
6	言語学の諸分野 形式中心的言語研究（チョムスキーのアプローチ）		講義
7	言語学の諸分野 機能主義言語学、談話文法、語用論の考え方		講義
8	言語の単位 日本語の音声について		講義
9	言語の単位 日本語の音韻規則		講義
10	言語の単位 日本語の形態論		講義
11	言語の単位 日本語の文構造		講義
12	統語論の諸問題 日本語の統語現象をさらに詳しく学ぶ。		講義
13	会話と含意 語用論の考え方		講義
14	言語と社会・文化 社会言語学の視点		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	使用しない。			
参考書	ジョージ・ユール（著）、今井邦彦・中島平三（訳）『現代言語学20章 — ことばの科学』（大修館）			
その他の資料				

【評価方法】 出席、受講態度、レポートなどを総合して評価する。	【履修上の留意点】 授業中の質疑応答などにおける積極性を評価する。
------------------------------------	--------------------------------------

言語聴覚学科 専門